

各教室等の窓と戸・らん間の開け幅の目安

①内外温度差20℃（例えば 室内温度20℃・外気温0℃程度以下）

必要換気量 [m ³ /h]	窓（網戸付）		戸		らん間
	3階建て以上の1階	左以外の階	3階建て以上の1階	左以外の階	
200	8cm	15cm	閉	閉	全開
300	10cm	20cm	閉	閉	全開
400	15cm	30cm	閉	20cm	全開
600	20cm	40cm	閉	35cm	全開
800	30cm	55cm	20cm	65cm	全開
1,200	40cm	80cm	35cm	100cm	全開

強風ではない場合（外部風速2m/s程度）

②内外温度差10℃（例えば 室内温度20℃・外気温10℃程度）

必要換気量 [m ³ /h]	窓（網戸付）		戸		らん間
	3階建て以上の1階	左以外の階	3階建て以上の1階	左以外の階	
200	15cm	20cm	閉	閉	全開
300	20cm	25cm	閉	10cm	全開
400	30cm	40cm	20cm	35cm	全開
600	40cm	50cm	35cm	55cm	全開
800	55cm	70cm	65cm	90cm	全開
1,200	75cm	100cm	95cm	140cm	全開

強風ではない場合（外部風速2m/s程度）

- ・廊下側に開けられるらん間がない場合は、戸の開け幅に40cmを足します。
- ・平屋、2階建て場合は、“左以外の階”、
3階建ての場合は、1階は“3階建て以上の1階”、2階と3階は“左以外の階”、
4階建てで1階に教室がある場合は、1階は“3階建て以上の1階”、2階と3階は“左以外の階”
4階建てで1階に教室がない場合は、2階は“3階建て以上の1階”、3階と4階は“左以外の階”
の開け幅を参照

【参考】内外温度差による換気量への影響

建物内で暖められた空気が上階に昇り、下階にはそのぶん外気がより多く入ってきます。このため、3階建て以上の1階は、他の階より窓を開け幅を小さくしても換気量を確保できます。内外の温度差が大きいほど、下階への外気流入は多くなります。

